

# 1 委員意見・グループワークのまとめ

目標設定	*フレイルの新規発生率の減少(10%) *健康者の増加(10%) *フレイル予防日本一
委員会運営	*会議はもっと多く *市民意見が反映されるように
ターゲット層	*高齢男性 *前期高齢者 *介護保険料負担年齢(40歳)以上

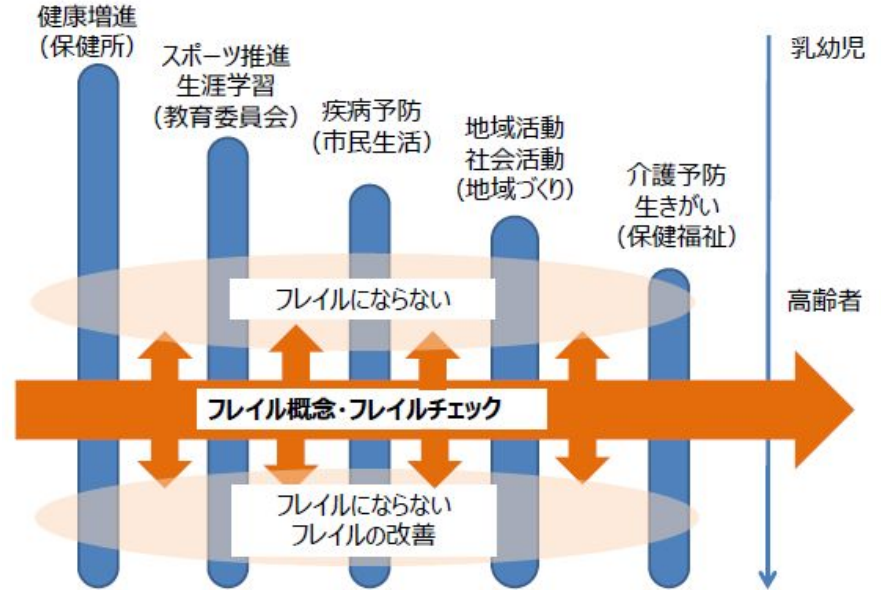
施策	フレイルの言葉・フレイルチェックの普及	*フレイルの言葉・概念の周知を * 広報媒体の作成・配布 * 各種会合に出向き啓発 * 関係団体でまず研修 * フォローアップの仕組み * サポーターを地区社協単位に複数養成 * 段階に即した多様なメニュー作成
	市民主体・地域展開支援	* いきいきネットをモデルに * 声掛け人材 * 自主グループ育成 * コミュニティづくりにラジオ体操を * 町会単位に推進チーム * ラジオ体操の普及 * 体力年齢診断の活用
	外出・交流の支援	* 集まれる場所・居場所づくり(集会所の活用など) * 停留所形式による送迎システム * 50mごとにベンチ * 農業従事者を誘う工夫 * カット野菜販売
	現状把握・見える化	* 現状把握(悉皆調査・地区診断) * 事業の見える化・共有化 * 横断的な情報共有 * 事業を紹介しあう * マップ化・冊子化
	専門職の活用	* リハ・栄養・歯科衛生士の活用 * 特定健診項目の追加 * 三世代調理教室
	意欲・付加価値	* ポイント制度の導入 * ハンドブック・手帳・ノートの配布 * スタンプ制度の導入

## 2 柏フレイル予防プロジェクト2025推進体制

### 柏フレイル予防プロジェクト2025推進委員会

フレイル予防の普及・啓発と効果的な推進，地域における市民主体の活動の促進，フレイル予防に係る関係機関の連携・調整等について協議

事務局：柏市（福祉政策課，福祉活動推進課）  
 柏市推進部署：保健福祉部，保健所，生涯学習部，市民生活部  
 アドバイザー：柏市医師会，柏歯科医師会，柏市薬剤師会、東京大学 I O G  
 委員：ふるさと協議会，社会福祉協議会，民生・児童委員，健康づくり推進員，スポーツ推進委員，健康づくり活動団体，東葛北部在宅栄養士会，在宅リハビリテーション連絡会，地域包括支援センター，学識経験者，柏市



### 官・民のフレイル予防活動の把握

事業の連携 ← 資源・活動の見える化 → 事業の調整

地域での市民の主体的活動の展開

ふる協 (地区社協)    ふる協 (地区社協)    ふる協 (地区社協)    ふる協 (地区社協)

数値化 → 活動評価 → 成果評価

フレイルチェック (気づき・自分事化)

フレイル予防サポーター

実践

再確認

